

八幡門前自治会の今月(R8.8)のお知らせ

異常な進路での台風上陸も、勢力は弱いと認識していましたが 8/13 は物凄い豪雨。魂消たまげました。京成八幡駅 4 号踏切下の道路(旧後土川ごうどかわ)の冠水は例によってありましたが、自治会内で目立った被害は聞こえてきません。大丈夫と思いますが。

1. 当自治会内の再開発構想

本八幡駅北口駅前の再開発(南北はパティオも含む総武線沿いから国道 14 号まで、東西は中央通りから旧サテリア 1 号館横道路まで)が動き出しています。

市の「本八幡駅北口再開発基本構想」(2018 年度制定)において、当自治会内も、南北は国道 14 号から京成線まで、東西は中央通りから葛飾八幡宮参道までが都市計画 2 項再開発促進地区の本八幡 E 地区として指定されました。

2018 年 7 月から地区内に住む住人を対象に説明会が何度か開催され、再開発準備組合は設立されましたが、地権者の反対で動きは止まっております。

2025 年 5 月、急に市の街づくり整備課の呼びかけで「京成八幡駅東側地域まちづくり検討会」として、市長も参加の意見徴収会議(市以外は 8 名参加)がありました。対象範囲の南北は変わりませんが、東は市川市役所手前から西は中央通りを越えて三菱 UFJ 銀行なども含む地域に拡大されていました。

「理想の街のイメージを自由に」と言う趣旨でしたので、私は「地下道の整備を」などの意見を言い、7 月に 2 回目の会議が同メンバーでありました。以降は今に至るまで市の街づくり整備課からは何の音沙汰もありませんので、これまでの経緯を報告しておきます。

再開発は地区全体の防災問題(住宅倒壊・火災対策)、交通問題(狭隘道路解消)に資する面もありますが、高層住宅の安全性などは未経験分野だし、大規模修繕の時期にどうなるかなどは不安です。地域環境を緑化等で改善と謳っておりますが、既存のターマシヨンの植栽枯死の状況や起こす風害を見ると疑問です。またテナトになる商業・飲食業は全国チェーンとなり、ある意味で便利ですが、地元資本には厳しい。

当該地区の住人のお考えは家族構成、年齢、土地、家の状況などを踏まえて、賛成にしても、反対にしても様々です。どうなるか決まらないのも困ります。

2. 街のパトロールと集団資源回収のお知らせ

(自治会 HP)

街のパトロールは

9月12日(土)午後8時00分より

集合場所：八幡神社参道踏切際鳥居前



資源ゴミの回収は

★毎週火曜日 朝8時 新聞紙・紙類・段ボール・布類

令和7年度は78,510円の協力金収入になりご協力ありがとうございました。

★毎週木曜日 ビン・缶類…当面の間、市での回収です。

★毎週土曜日 ペットボトル…各ゴミ集積場に配布されているネット(回収袋)に、キャップとラベルを外し、軽く濯いで、つぶして入れて下さい。

※生ゴミ、プラ用のゴミ袋は、臨時措置が終了し、9月から指定のゴミ袋になります。